

平成28年度 庄原市学校司書研修会

- 日 時：平成28年7月27日（水） 10：00～14：45
- 場 所：庄原市ふれあいセンター
- 対象者：庄原市内小中学校の学校司書（10名）

目 的

- 読み聞かせの一線で活躍しておられる方から講話・演習を受けることで、読み聞かせの意義やポイント等を学び、各校での活動の充実及び児童生徒の読書活動の推進を図る。
- 庄原市職員としての服務規律について理解する。

講話 「服務について」

庄原市教育委員会 教育指導課 学事係 管理主事 辻坊 健作



【講話の概要】

- 事例を基にした服務研修
 - ・交通事故事案を基に、交通事故に遭遇した際、どのような対処をすればよいかについて確認を行った。
- 自分自身の振り返りと目指す自分の姿について
 - ・目指す自分になるために、今、自分ができることについて考え、交流を行った。

講話・演習 「子供たちの読書活動推進をめざして」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐 さん



【参加者の声】

- ・どんなジャンルの本も話し手の紹介の仕方、子供たちの興味・関心が変わることに気がきました。これから、社会の様々な情報にアンテナをはり、よりよい情報提供ができるよう頑張りたい。

【講話・演習の概要】

- 子供たちが本との出会うために
読書環境を整えるだけでは、多くの子供たちは本を手にとって読むことをしない。子供たちが本を読むためのレファレンス（アドバイス）が必要である。その一つとして、ブックトークがある。
物語ばかりではなく、いろいろな本をテーマでつないで紹介することが必要である。社会の出来事と関連させることも効果的である。
- 学校司書の役割に期待すること
子供たちがたくさんの本と出会えるような取組を期待する。そのためにも、地域の図書館、読書ボランティア、そして、学校の先生方としっかり連携をすることが大切である。